

# IKBF

# Linesmen Clinic

国際キンボールスポーツ連盟のラインズマン・クリニック

Coupe d'Europe Kin-Ball 2014 - République Tchèque - Hradec Králové CZECHIA. [26/09/2014]



[Q05\_D\_Swi\_Fra\_Cze\_0006] [www.facebook.com/prphotographie](http://www.facebook.com/prphotographie)

Document produced by the International KIN-BALL® sport Federation  
All rights reserved to IKBF and its Members



## 役割と責任

ラインズマンは役員であり、レフリーグループの一員であり、コート・ラインのそばで「アウトサイド (アウトボール)」を判断することに専念する。コートの近くに固定された障害物がある場合、ラインズマンはボールがそれに触れたか否かに注意しなければならない。

ラインズマンはボールのみを判断しなければならない。プレーヤーを判断してはならない。

また、ラインズマンは、チームからのタイムアウトの要求があったときにレフリーを手助けする。

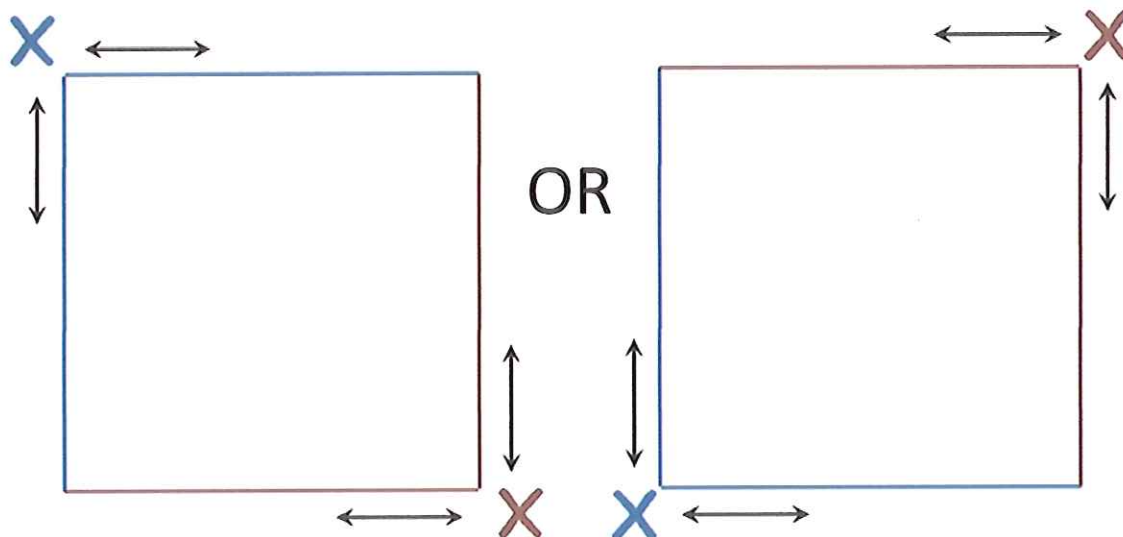
ラインズマンは、あらゆる決定について最終判断をするヘッドレフリーの責任下にある。

## 位置取り

ラインズマンはコート外で対角に位置する。予め決められた位置はなく、下図のどちらでもよい。その際、ラインズマンの動きの妨げになるものがあればそれを避ける場所にする。

## 移動

できるだけよく見えるよう、ラインズマンはラインを踏んだり、ラインに沿って移動したり、ライン上にいてもよい。ラインズマンはコーナーから4メートル以上離れてはならない。なぜなら自分の担当であるもう一つのラインにボールが落ちたときに判断できないからである。



## 個々の位置

試合中、ラインズマンは常に旗が見えるように自分の前で持っていなければならない。下記の写真を参照のこと。



## ジェスチャー

全てのジェスチャーはできるだけ 2 人のラインズマンが同時に行わなければならない。たとえ、1 人がそのプレーに対して適切な位置にいなかったり、判断ができない場合にでも同様である。このことは、ラインズマン 2 人が試合中そこにいて、彼らが判断しなければならないときに備えて十分準備ができていること知らしめることになる。

アウトサイド



ボールの落下



タイムアウトの要請



## 手順

### 試合開始前

ラインズマンはレフリーとともにコート中央に集まり、キャプテンと握手をする。そして第 1 ピリオドのサイコロを投げる場面に立ち会う。サイコロの結果が出たら、ラインズマンは自分の位置に戻る。ヘッドレフリーは、ラインズマンが自分の位置につくのを待ち、位置についたら試合開始のホイッスルを吹き、プレーヤーをコートに招き入れる。

### 試合中

ラインズマンは、ボールがライン際に落ちた時にできるだけそれがはっきりと見えるような位置に常になければならない。そのために、ラインズマンがいるコーナー辺りをダイナミックに動き回ってなければならない。

ボールが落ちたときは、たとえ落ちたボールがラインから離れたコート内に落ちて、誰がみてもボールの落下だと分かっている場合、いつでも「ボールの落下」のジェスチャーをしなければならない。

ボールがコート外に落ちた場合は、ラインズマンは「アウトサイド」のジェスチャーをできるだけ素早く行わなければならない。

コートのすぐ近くに固定された障害物があり、それにボールが触れた場合、ラインズマンは「アウトサイド」のジェスチャーをできるだけ素早く行わなければならない。

ラインズマンはヘッドレフリーがジェスチャーを行い、ヘッド・スコアキーパーにその決定を伝えるまで、そのジェスチャーを保っていなければならない。

チームからタイムアウトの要請があった場合、ラインズマンは「タイムアウトの要請」のジェスチャーを行い、ヘッドレフリーがタイムアウトを告げるまで、もしくは、アシスタントレフリーがヒットインのホイッスルを鳴らすまで、そのジェスチャーを保っていなければならない。アシスタントレフリーがヒットインのホイッスルを鳴らすという場面は、ヘッドレフリーがタイムアウトの要請に気づかなかつたり、ヒットインのホイッスルと同時にもしくはその後にはタイムアウトの要求があったと判断した場合に起こり得る。

### ピリオドの終了時

ラインズマンはレフリーとともにスコアキーパーのもとに行き、話し合いを行う。

### 試合終了時

ラインズマンはレフリーとともにコート中央に行き、プレーヤーと握手する。

## 注意

ラインズマンは障害物としてみなされない。ラインズマンはレフリーと同じ立場にある。

補足説明: レフリーと同じく、ボールがラインズマンに当たった場合、守備側のチームがボールに触らずに、そのボールの軌道が変わった場合はリプレーになる。コールされたチームのプレーヤーがボールに触り、その後ラインズマンにボールが当たった場合はプレー続行となる。